

## 足立新田高等学校 令和4年度 教科芸術科目書道Ⅱ 年間授業計画

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅱ 単位数： 2単位

対象学年組： 第2学年2～7組

使用教科書： ( 「書Ⅱ 教育図書」 )

使用教材： ( 書道用具一式 )

	指導内容	科目書道Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
4 月	楷書 画法師碑 P50	半紙タテ書き2文字「素江」縦構造の冠脚、横構造の偏旁の組み方	1. 授業内容を理解できているか 2. 授業に積極的に取り組んでいるか 3. 作品の提出と出来具合	2	「書Ⅱ 教育図書」 書道用具一式
	楷書 孟法師碑 P50	同上の外、唐代の楷書のバランス感覚の理解と実践		2	
5 月	楷書 真草千字文 P51	「離即」3つ以上の部首からなる多画字の組み方		2	
	楷書 始年公造像記 P53	「思有」北魏楷書のバランス感覚の理論と実践		2	
	楷書 峴猛龍碑 P52	「春秋」唐楷とのバランスや熱気ある書表現の相違点を学ぶ。		2	
	楷書 峴猛龍碑 P53	半紙四文字書きの取め方 「嘉其聲績」行間の意識を学ぶ。		2	
6 月	楷書 賢愚経残巻 P55	「如是我聞」石刻と肉筆の学習の仕方の理解。		2	
	楷書 賢愚経残巻 P55	「衛国紙樹」繁画の文字の組み方と字面の問題について。		2	
	行書 集王聖教序 P42	「無累神則」集字bした古典の理論と実践。		2	
	楷書 伊都内親王願文 P46	「慧柯一飛」楷書の筆使いや画数の省略を学ぶ。		2	
7 月	行書 蜀素帳 P45	「青松勁挺姿」半紙五文字の取め方。空間処理や垂直に思い切って打つ点の効果について		2	

	指導内容	科目書道Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
9月	草書 十七帖 P36, 37	「平安」十七帖の三井本に見られる“断筆”表現の理論と実践		2	
	草書 十七帖 P37	「具歩複数」字間の揺るぎない定点について		2	
10月	楷書 書譜 P38	「神融筆暢」①王羲之学習の貴重な資料②真蹟である歴史的価値③書論とに優れるという三本柱の理解		2	
	楷書 書譜 P39	「当仁者」紙の折のために出現する“節筆”の理解と実践		2	
	隷書 曹金碑 P26	「世徳」隷書の歴史と基本点画と特徴の解説		2	
	隷書 曹金碑 P27	「重親」偏旁冠脚と波勢波磔が理解でき表現できるか？		2	
	隷書 乙瑛碑 P28	「平成」曹金碑との表現方法の違いを学習する。		2	
11月	隷書 乙瑛碑 P28	「特立廟姿」半紙をヨコに使って表現効果を追求する。		2	
	篆書 泰山刻石 P10、11	「皇帝」篆書の歴史と基本点画、特徴についての解説		2	
	篆書 泰山刻石 P10	「金石左右相称と不对称の文字の観察眼の鍛錬		2	
	篆書 石鼓文 P12	「車馬」泰山刻石(小篆)よりも石鼓文(大篆)の構造の複雑さの理解		2	
12月	篆書 石鼓文 P13				

	指導内容	科目書道Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
1 月	仮名 高野切第一種 P62～66	仮名の歴史と高野切第一種の解説。原寸臨書の重要性と方法論の理解と実践		2	
	仮名 高野切第一種 P65、66	「ゆきのきに～はなとみゆるか」迄の原寸臨書		2	
2 月	仮名、変体仮名 「五十音」前半 P80	「阿（あ）～能（の）」迄、変体仮名の歴史と字形の説明		2	
	仮名、変体仮名 「五十音」後半 P81	「濃（の）～越（を）」迄、変体仮名の歴史と字形の説明		2	
	漢字仮名変わり書 P100～113	漢字と仮名を調和させる事の難しさと、線表現は自由にして良いことの理解		2	
3 月					